

# 核兵器のない公正な世界の実現を！

## 東京原水協署名推進ニュース No.7

2019年10月29日 発行  
原水爆禁止東京協議会  
TEL 03-5395-4222  
Fax 03-5395-4220  
Mail:Tokyo-gensuikyo@aurora.  
ocn.ne.jp

### 「ヒバクシャ国際署名」1051万人分提出、

### さらなる飛躍をめざし、ニューヨーク大会を成功させよう！

10月11日、ヒバクシャ署名連絡会を代表してニューヨーク訪問中の被団協の藤森事務局次長は、国連総会第一委員会の議場を訪問、ヨレンティ議長に、1051万7872人分の署名目録を提出しました。

核兵器禁止条約の批准国がドミニカで33カ国になった今、発効まで一段と近づいてきました。10月23日に行われた東京連絡会の会議で、ヒバクシャ国際署名をすすめる東京連絡会の署名集約では、2019・10・2現在、690829筆と報告がありました。

10月18日の常任理事会では、東京原水協が目標とした100万筆までどのように取り組みを強化していくのか議論がありました。年末、3月末、ニューヨーク世界大会、8月世界大会、国連総会と5つの節目ごとに地域・団体で目標を立てて取り組みましょう。日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める自治体意見書要請にも力を入れることが大切です。この行動は、あくまでも被爆者を中心として行動を立てていくことも重要だと確認し合いました。国立原水協から、9月19日、国立市議会最終本会議で『核兵器禁止条約への署名と批准を日本政府に求める陳情』が採択されたこと、本陳情への賛成署名はわずか1ヶ月で1342人分が寄せられ、陳情採択に向けて大きな力になったことが報告されました。また、国立では、第9回平和首長会議、国内加盟都市会議総会が24日～25日の2日間行われパネル展や合唱、演奏、国立市の平和事業の取り組みなどが発表されたようです。

東京連絡会では、**11月22日(金)14時～16時、中野の東京都生協会館3階会議室で「都民のつどい2019」を行います。**全国キャンペーンリーダーの林田光弘さんの講演や被爆証言を聞いて、あらためて核兵器廃絶を願う被爆者の思いと、世界の動きを学びましょう。

足立原水協は毎月21日の大師の日は大師駅前で10時から署名行動を行っています。この日はたくさんの方が署名してくれるので楽しいそうです。

9月6日の綾瀬駅前のヒバクシャ署名行動では、参加者24人で69筆、10月9日の竹の塚西口の署名行動では、23人で51筆など、2桁の参加で50筆以上集めていることが、すごいですね。9月に行われた世界大会の報告集会では、動く分科会「少年少女平和のつどい」に参加した小学6年生のI君が報告されたので、紹介します。(山王神社の二の鳥居です。この鳥居は原爆の爆風で片方が飛んでしまい、上の方が焦っています。爆心地公園、74年前に何がここで起きたのか考えてみましょう。被爆のクスの木は山王神社の守り神。等巡りその他、当時の食事も食べました。大変厳しかったことがわかりました。ボクは、原水禁世界大会でたくさんのことを学びました。『原爆とは何か』ということ、自分自身も改めて考えました。原爆は、大切な命を奪い悲しみしか作りません。核兵器はまだまだたくさんあり、すべてをなくすのは、とても困難です。しかし、核兵器は徐々に減っています。核兵器をなくすために必要なものは、皆さんの「声」です。1人の声は弱くても何十万人の声が合わされば、きっと核兵器をなくすことができます。そのためには、自分自身が動かなければなりません。被爆者の方のためにも、核兵器をなくし世界を平和にしましょう。)

#### 「ヒバクシャ国際署名」推進青梅連絡会より

10月14日、午後3時～河辺駅北口で青梅連絡会は市民アクション第2弾として、ヒバクシャ国際署名・改憲NO!3000万署名行動に取り組みました。9条の会、新婦人、健康友の会、青梅原水協がリレートーク。ヒバクシャ国際署名38筆、改憲NO!3000万署名20筆、なくそう核兵器署名付パンフ100枚を配布しました。参加者は22人でした。原爆パネルを展示市、平和の歌を歌いながら取り組みました。